

包括施設管理委託のサウンディング型市場調査 結果概要

1. 調査概要

(1) 調査目的

座間市では、所有する公共施設について、管理業務水準の向上、施設管理体制の充実、関連業務の効率化及びより質の高いサービスを提供することを目的として、包括施設管理委託の実施の検討を行っています。

そこで、市における適当な業務範囲及び規模等、また、民間事業者の意向や市場の動向等を把握するためにサウンディング型市場調査を実施しました。

(2) 調査スケジュール

調査の公表	令和4年6月22日（水）
参加及び質疑受付	令和4年6月22日（水）～6月30日（木）まで
調査期間	令和4年7月4日（月）～7月14日（木）まで

(3) 参加事業者 9社

(4) 調査項目

No	内 容
1	施設管理方法及びシステム導入について
2	事業開始までのスケジュールについて
3	マネジメント費の考え方について
4	市への要望、事業化した際の留意点等について

《追加調査項目》

No	内 容
1	物価変動に対する考え方について

2. 聴取内容

(1) 施設管理方法及びシステム導入について

市内に常駐職員を配置し、巡回点検等を行うことが確認できた。

(2) 事業開始までのスケジュールについて

各業務の引継ぎ、情報把握、市内事業者との調整等、準備期間に少なくとも6か月程度の期間を要するという意見が多かった。

(3) マネジメント費の考え方について

施設数や修繕を含めるか否か等でマネジメント費に差が出るものの、一般的なマネジメント費は15～20%という回答が多かった。

(4) 市への要望、事業化した際の留意点について

- ・ 公募時の提示資料について
- ・ 拠点事務所
- ・ 駐車場の確保
- ・ 公募前の施設見学
- ・ 期待する付加価値の範囲の明確化
- ・ 市内事業者との関係構築に対する協力体制
- ・ 物価上昇を見込んだ予算の確保

《追加聴取内容》

(1) 物価変動の考え方について

人件費、原材料費の上昇率（賃金スライド）を加味し見積算出するケースや業務効率化を検討しながら、全体コストで賄えるよう対応するケースがあり、仕様書の中で一定の基準を設けてほしいという意見もあった。